

今月のショー・ウインドー

パイオニアのステレオ・アンプ

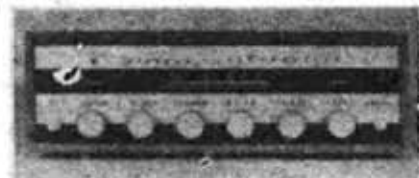
福音電機では、このほど、本格的なステレオ・アンプとして、ステレオマスター「SM-R150」(現金正価 26,000円)を売り出した。

主な特長として、

1. 高・低音用2チャンネル・アンプとして使用できる——スイッチの切り替えだけで、高音と低音とを、それぞれ別のメイン・アンプとスピーカーで再生することができる。

クソロオーバー周波数3500%で、オクターブ当りの減衰量は6dBとなっている。

2. どんなビックアップも使うことかできる——ステレオPUの出力電圧は低いので、ここでは、3mVの入力



でも最大出力が得られるだけの高利得をもたせてある。

3. 雑音が少ない——従来のアンプの約2倍のゲインをもちながら、ハムその他の雑音は非常に少なくなっている。

4. バランス・インジケータつきになっている——左右のバランスが、ひと目でわかるように、横行ダイヤル式インジケータを組み込んである。

5. テープ・ヘッドから直接再生できる——テープ・ヘッドから直接アンプに接続して使用できるように2mVの入力で、最大出力が取り出せるようになっている。

規格

出力……15W

周波数特性……20~20,000%

(±0.5dB以内)

全高調波歪……1%以内

(出力7.5Wのとき)

SW比……53dB以上

(PHONO端子より入力3mV,
出力最大時)

出力端子……8Ω, 16Ω

消費電力……94VA (87W)

詳細は直接下記へ

福音電機株式会社

(東京都文京区音羽6の5)

アシダ音響のスピーカー

アシダ音響では20cm (8インチ)

Hi-Fiスピーカー「8P-HF1」型を発売した。

これは、すでに定評のあるMRコーンを使用した6P-HF1について発売されたもので、一般家庭用のHi-Fi再生装置はもちろんのこと、プロフェッショナル用としても、再生帯域が広く、高性能なので、十分にその性能が発揮できる。

主な規格

ボイス・コイル……8Ω, 16Ω

再生周波数帯域……25%~14,000%



周波数偏差……±7dB

最低共振周波数……45%±4%

出力音圧レベル……102dB/V

MRコーン質量……2.7g

振動系実効質量……5.3g

空隙磁束密度……9,000gauss

公称入力……8W

最大許容フラット入力……15W

以上のようにになっている。

詳細は直接下記へ

アシダ音響株式会社

(東京都足立区東大崎3-217)

ミヤマの高周波チョーク

小物パーツの専門メーカーである、ミヤマ電器KKから「#29」高周波チョーク・コイルが発売された。



本製品は、特に、小型セット用として、設計されたもので、ボビンはダスト・コアの両端にリード線をモールドしてあり、巻線にはリッツ線を使用して、ハネカム巻にしてあり、防湿処理をおこなっている。

1mH, 2mH, 3mH, 4mH,
5mHの5種がある。

正価60円

詳細は直接下記へ

ミヤマ電器株式会社

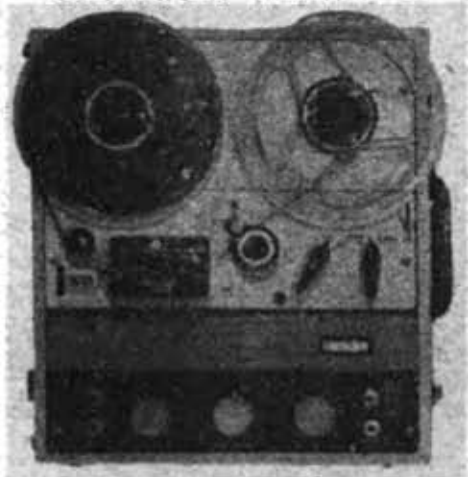
(東京都太田区上池上町56)

アカイのテレコ 902

赤井商事ではテープレコーダー「902」型を発売した。

本機は1台の中にミキサー回路もっているもので、いちどに3本のマイクを同時に使用できるばかりでなく、マイクとプレイヤー、マイクとラジオ等の異った録音源を重ねて録音できる。

瞬間停止装置は、いままで以上に使いやすいくなり、長期停止も簡単にできるようになった。また、新型VUメー



ターを取りつけたので、その録音レベルの合わせ方も非常によくなった。いままで、デラックス・テレコーダーにしかついていなかった、録音部の明示されるセクターがついている。

主な規格

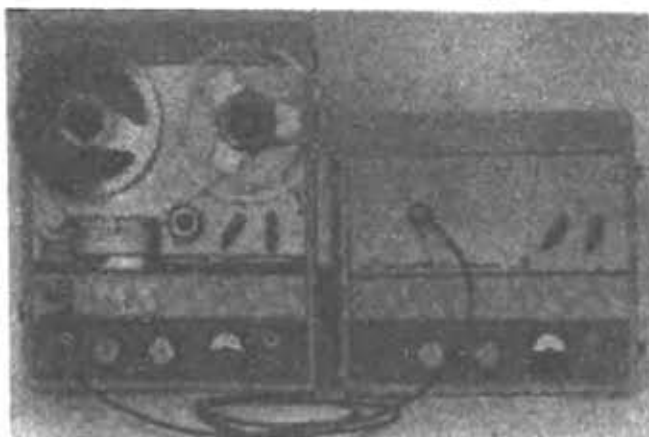
- 電源……交流100V 50~60%
- 消費電力……50W
- 録音方式……新交流バイアス法
(ダブルトニック)
- 周波数特性……50~12,000%
- 出力……3.2W
- 録音入力……第1チャンネル：
マイク
- 第2チャンネル：
マイク、ラジオ、プレイヤー
テープ・スピード……
19cm/sec (7.5吋/sec), 9.5
cm/sec (3.75吋/sec)
- 使用球……6A U6×2, 6A R5×2
6X4
- 詳細は直接下記へ
赤井商事株式会社
(東京都大田区籠谷町3-883)

アカイのステレオ・デラックス

赤井商事ではステレオ用テープレコーダーを発売した。

特長は、いままでの音のよいデラックス型を、そのままよいところを残して、ステレオにしたもので、サイド・アンプを使用しなくても、手持ちのラジオを利用して簡単にステレオ再生ができる。瞬間停止装置が一段とよくなり停止、解除が2段に作動する。

モノラル録音もヘッド・ツマミ一つで簡単にできるばかりでなく、その



今月のショー・ウインドー

良音はステレオ音に比肩できる。

規格

- 消費電力……60VA
- 録音方式……ステレオ・インライン
モノラル・ダブルトラック方式
新交流バイアス法使用
- 周波数特性……19cm/sec・30~
15,000%
- 9.5cm/sec・40~12,000%
- 歪率……全高調波歪3%以下
- 出力……上部メインアンプ
6W
- サイド・アンプ6W
- 下部プリアンプ1V
- フラッター……0.15RMS'
以下
- クロストーク……1000%
(-3VUの録音にて)
- 80dB
- S/N……40dB以上
- 巻きもどし、早送り……
2.5分
- 詳細は直接下記へ
赤井商事株式会社
(東京都大田区籠谷町3の883)

ナショナルの新パーツ

カートリッジ CS-507

ステレオ、LP、78回転レコードのいずれにも演奏可能。ターンオーバー式で、いかなるセットにも接続できる4端子式である。

- 出力……ST・LP
0.8V
- 78・0.6V
- (負荷抵抗・1
M Ω 1000%水平
速度 振幅5cm/
sec)
- クロストーク……
1000% 15dB
以上
- 正価……
1,800円

ステレオ用ピックアップ STX-23

カートリッジは上記のものを使用。クリスタル型ではあるが、非常に性能がよい。

針圧……6~8g

正価……3,700円

FM専用ワイヤード・バック

FM-P1

FM-P1は、超短波の部分を完全配線調整ずみのボックス型サブシャーシ



とし、これとFM用IFTとを組み合わせて、107Mcのテスト・オシレーターと直流真空管電圧計または、テスターさえあれば、5球スーパー製作の技術でも、十分高性能のFMチューナーやラジオができるようになっている。

受信周波数帯……80~90Mc

入力インピーダンス… 300 Ω 平衡型
および75 Ω 不平衡型

感度…5 μ V (検波出力0.1Vに対し)
歪率……1%以下 (入力1mV30%
変調)

中間周波数総合帯域幅……200kc
(3dB減衰に対し)

検波感度……6mV

正価……2,700円

詳細は直接下記へ

松下電器産業株式会社

(大阪府北河内郡門真町)